

平成29年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年12月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンオータス
 コード番号 7623 URL <http://www.sunautas.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 北野 俊
 (氏名) 古川 晴男

TEL 045-473-1211

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第2四半期の連結業績(平成28年5月1日～平成28年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第2四半期	14,074	△14.2	△167	—	△113	—	△120	—
28年4月期第2四半期	16,409	△15.2	△169	—	△151	—	△127	—

(注) 包括利益 29年4月期第2四半期 △122百万円 (—%) 28年4月期第2四半期 △141百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年4月期第2四半期	△38.50		—	
28年4月期第2四半期	△40.60		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第2四半期	13,695		2,710		19.8	
28年4月期	14,475		2,857		19.7	

(参考) 自己資本 29年4月期第2四半期 2,708百万円 28年4月期 2,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年4月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年4月期	—	0.00	—	—	—
29年4月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	28,000	△13.3	100	—	150	—	60	—	20.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年4月期2Q	3,230,500 株	28年4月期	3,230,500 株
② 期末自己株式数	29年4月期2Q	97,964 株	28年4月期	97,964 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年4月期2Q	3,132,536 株	28年4月期2Q	3,132,556 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の財政・金融政策を背景に、企業収益と雇用情勢が改善により所得環境が改善するなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国をはじめとするその他新興国の景気減速や英国のEU離脱問題や米国の金融政策の影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況の下、石油製品販売業界におきましては、原油価格の先行きが依然不透明であり、ハイブリッド車をはじめとする低燃費車の普及等による国内石油製品の構造的な需要減少が続いております。自動車販売業界におきましては、引き続き、輸入車ブランド間による顧客獲得競争が激化するなど、厳しい経営環境におかれましては、

その結果、売上高は14,074百万円（前年同四半期比2,335百万円減収、14.2%減少）、営業損失167百万円（前年同四半期は169百万円の営業損失）、経常損失113百万円（前年同四半期は151百万円の経常損失）を計上し、法人税等負担後の親会社株主に帰属する四半期純損失は120百万円（前年同四半期は127百万円の親会社に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。なお、セグメント間の取引については、相殺消去前の数値によって表示しております。

① エネルギー事業（石油製品販売、カーケア商品販売、車検・整備）

当事業につきましては、石油製品価格の低下や販売競争が激化するなか、前期末に低採算のSSを6店舗閉鎖したことに伴い、燃料油販売数量は減少いたしました。一方で、お客さまの他多様なニーズに的確にお応えするため、タイヤ・コーティング洗車、メンテナンス商材の充実と点検サービスのアフターフォローを徹底するなど、お客さまの満足度向上に努めました。また、JXエネルギー代理店として「ENEOSでんき」のご案内を通し、顧客接点の拡充に注力いたしました。損益面では低採算店舗の閉鎖や油外商材販売・サービス提供の充実により改善の途上にあります。

この結果、売上高は4,770百万円（前年同四半期比1,825百万円減収）、セグメント損失は33百万円（前年同四半期はセグメント損失87百万円）となりました。

② カービジネス事業（BMW、プジョーの輸入車正規ディーラー、オリックス・レンタカー）

国内における輸入車販売は増加傾向にある中で、当事業の輸入車ブランドにつきましても、ショッピングモールへの出張展示会を積極的に開催するなど、新規ユーザーの獲得と買い替え促進策を展開いたしました。売上高は、フォード日本撤退の影響もあり、販売台数・販売額ともに対前年四半期に比べ伸び悩みました。

フォード直営店の営業譲渡によるプジョー成城店の開設や、フォード車顧客のフォローとして同じ米国車の新規ブランドであるジープ車販売に参入し新店舗開設を準備しております。

レンタカーにつきましては、顧客獲得競争が激化するなか、CS向上のため新車・人気車の積極的な車両入替を行いながら、法人新規開拓や既存ユーザーの囲い込みに注力いたしました。

この結果、売上高は9,079百万円（前年同四半期比486百万円減収）、セグメント損失は81百万円（前年同四半期はセグメント損失27百万円）となりました。

③ ライフサポート事業（損害保険・生命保険募集業務、訪問介護サービス）

当事業の保険部門では、現在4店舗体制の来店型保険ショップ『ほけんの窓口』を展開し、店舗の認知活動による集客力の強化に取り組み、来店客数も順調に推移しました。また、コンサルティング営業力の強化にも努め相談会の質の向上にも取り組んでまいりました。しかしながら、集客力の鈍化により手数料収入は対前年同四半期比伸び悩みました。

この結果、売上高は90百万円（前年同四半期比12百万円減収）、セグメント損失は22百万円（前年同四半期はセグメント損失28百万円）となりました。

④ 不動産関連事業（ビルメンテナンス業、不動産賃貸業）

当事業につきましては、大規模LED取替工事が一段落しましたが、安定した顧客の確保とビルメンテナンスの営業強化から新規受注を獲得するなど、引き続き堅調に推移いたしました。

また、前年度閉鎖したSS跡地の有効活用を行い、今年9月より賃貸収入を計上しています。

この結果、売上は219百万円（前年同四半期比16百万円減収）、セグメント利益は44百万円（前年同四半期はセグメント利益48百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、13,695百万円と前連結会計年度末に比べ779百万円減少しました。これは主に、固定資産は61百万円増加したものの流動資産が841百万円減少したことによるものであります。負債合計は10,985百万円と前連結会計年度末に比べ632百万円減少しました。これは流動負債が478百万円減少し、固定負債が154百万円減少したことによるものであります。純資産合計は当第2四半期連結累計期間の業績を反映し147百万円減少して2,710百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は0.1ポイント増加して19.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ854百万円減少して861百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりです。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、221百万円（前年同四半期連結累計期間は1,436百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失136百万円及び未払金の減少額70百万円等があったものの、減価償却費338百万円を計上したこと、また棚卸資産の減少額198百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、641百万円（前年同四半期連結累計期間は379百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の減少額79百万円があったものの、試乗車両を中心とした有形固定資産の取得による支出が724百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、434百万円（前年同四半期連結累計期間は1,074百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が154百万円、リース債務の返済による支出が184百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年6月17日に公表の数値を変更しておりません。なお、この連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。この結果、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,852,181	918,689
受取手形及び売掛金	1,480,956	1,510,779
商品	2,682,344	2,846,371
貯蔵品	13,136	9,768
繰延税金資産	13,224	30,206
その他	858,438	744,303
貸倒引当金	△30,090	△31,102
流動資産合計	6,870,190	6,029,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,048,396	1,028,419
土地	4,147,261	4,147,261
リース資産(純額)	719,977	620,770
その他(純額)	579,518	611,924
建設仮勘定	874	146,697
有形固定資産合計	6,496,028	6,555,073
無形固定資産		
その他	17,463	17,256
無形固定資産合計	17,463	17,256
投資その他の資産		
投資有価証券	54,300	52,851
長期貸付金	92,546	84,404
差入保証金	544,738	543,916
繰延税金資産	58,870	66,094
その他	351,017	356,646
貸倒引当金	△9,407	△9,420
投資その他の資産合計	1,092,064	1,094,492
固定資産合計	7,605,556	7,666,822
資産合計	14,475,747	13,695,839

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,316,392	2,216,557
短期借入金	5,981,029	5,910,219
1年内返済予定の長期借入金	281,328	246,332
リース債務	350,508	320,663
未払法人税等	34,325	14,560
賞与引当金	106,808	94,632
その他	960,950	749,937
流動負債合計	10,031,343	9,552,903
固定負債		
長期借入金	583,160	464,010
リース債務	424,360	349,579
繰延税金負債	6,281	5,629
役員退職慰労引当金	93,491	95,710
退職給付に係る負債	442,345	436,700
その他	36,867	80,629
固定負債合計	1,586,505	1,432,259
負債合計	11,617,849	10,985,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,250	411,250
資本剰余金	462,500	462,500
利益剰余金	2,024,046	1,878,381
自己株式	△48,969	△48,969
株主資本合計	2,848,826	2,703,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,316	4,860
その他の包括利益累計額合計	6,316	4,860
新株予約権	2,755	2,653
純資産合計	2,857,897	2,710,675
負債純資産合計	14,475,747	13,695,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
売上高	16,409,568	14,074,421
売上原価	13,617,892	11,487,665
売上総利益	2,791,675	2,586,756
販売費及び一般管理費	2,960,730	2,753,953
営業損失(△)	△169,054	△167,197
営業外収益		
受取利息	1,021	837
受取配当金	1,006	433
受取手数料	33,314	22,333
保険解約返戻金	12,762	-
受取補償金	-	53,991
その他	12,059	17,086
営業外収益合計	60,164	94,681
営業外費用		
支払利息	30,388	33,711
その他	12,202	7,381
営業外費用合計	42,590	41,092
経常損失(△)	△151,481	△113,608
特別利益		
投資有価証券売却益	18,661	-
新株予約権戻入益	87	101
特別利益合計	18,748	101
特別損失		
固定資産売却損	35	-
固定資産除却損	1,786	23,330
特別損失合計	1,822	23,330
税金等調整前四半期純損失(△)	△134,555	△136,837
法人税、住民税及び事業税	20,668	8,443
法人税等調整額	△28,042	△24,676
法人税等合計	△7,373	△16,232
四半期純損失(△)	△127,181	△120,604
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△127,181	△120,604

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
四半期純損失(△)	△127,181	△120,604
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,297	△1,455
その他の包括利益合計	△14,297	△1,455
四半期包括利益	△141,478	△122,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△141,478	△122,060
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△134,555	△136,837
減価償却費	325,596	338,875
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,086	1,024
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,178	△12,176
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,629	△5,644
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,202	2,219
受取利息及び受取配当金	△2,028	△1,270
支払利息	30,388	33,711
受取補償金	-	△53,991
投資有価証券売却損益(△は益)	△18,661	-
有形固定資産売却損益(△は益)	35	-
固定資産除却損	1,786	23,330
売上債権の増減額(△は増加)	122,616	△42,838
たな卸資産の増減額(△は増加)	681,727	198,654
仕入債務の増減額(△は減少)	171,774	△68,939
未収入金の増減額(△は増加)	69,136	65,695
未払金の増減額(△は減少)	53,091	△70,058
その他	50,001	△93,790
小計	1,372,650	177,961
利息及び配当金の受取額	2,028	1,270
補償金の受取額	-	77,090
利息の支払額	△30,543	△35,074
法人税等の支払額	△15,094	△31,555
法人税等の還付額	107,388	31,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,436,428	221,190
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△8	79,216
有形固定資産の取得による支出	△398,608	△724,368
無形固定資産の取得による支出	-	△218
投資有価証券の取得による支出	△525	△309
投資有価証券の売却による収入	37,871	-
差入保証金の差入による支出	△13,422	△18,956
差入保証金の回収による収入	31,970	20,737
短期貸付金の増減額(△は増加)	△3,284	1,000
長期貸付けによる支出	△30,000	-
長期貸付金の回収による収入	7,428	8,142
その他	△11,108	△6,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△379,688	△641,357
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△649,513	△70,809
長期借入金の返済による支出	△204,300	△154,146
社債の償還による支出	△15,000	-
リース債務の返済による支出	△174,952	△184,219
配当金の支払額	△30,956	△24,931
自己株式の取得による支出	△20	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,074,743	△434,107
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△18,002	△854,274
現金及び現金同等物の期首残高	1,359,916	1,716,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,341,913	861,786

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年5月1日至平成27年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エネルギー 事業	カービジネ ス事業	ライフサポ ート事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,533,223	9,555,143	102,071	219,130	16,409,568	—	16,409,568
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62,477	10,715	896	16,833	90,922	△90,922	—
計	6,595,700	9,565,858	102,967	235,963	16,500,490	△90,922	16,409,568
セグメント利益又は損失(△)	△87,509	△27,153	△28,164	48,941	△93,886	△75,168	△169,054

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△75,168千円には、セグメント間取引消去59,219千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△134,387千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エネルギー 事業	カービジネ ス事業	ライフサポ ート事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,711,399	9,070,225	89,086	203,711	14,074,421	—	14,074,421
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58,890	9,580	945	15,642	85,059	△85,059	—
計	4,770,289	9,079,806	90,031	219,353	14,159,481	△85,059	14,074,421
セグメント利益又は損失(△)	△33,128	△81,492	△22,089	44,739	△91,971	△75,225	△167,197

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△75,225千円には、セグメント間取引消去61,814千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△137,040千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。